

# 建 築 協 会 青 年 部 会 会 報

## 第 1 号

発行 (社)鹿児島県建築協会  
青 年 部 会  
鹿児島市城山町2-13  
TEL(099)224-5220

### 総務第一委員会

### 平成8年度 事業報告

総務第一委員会は当初、本会事業の支援、連絡を主として活動するように掛けられました。八年度は、献血の呼び掛け、おはら祭りの参加及び呼び掛け、賀詞交換



▲おはら祭り

この事業は前年からの継続事業であり、親会の担当委員会と合同で実施したいと思えます。

又、本会事業の支援活動として、献血、現場見学会、おはら祭りの参加呼び掛け、又、おはら祭りにおいては、広く地方青年部員にも呼び掛けを行いたいと思えます。

賀詞交換会においては、受付の手伝い等を実施した

換会の手伝い等を行いました。

又、独自の事業として全協会員を対象に雇用に関する意識調査、県内全工業高校建築系学科生と鹿大、第一工大の建築科学生を対象に就職に関する意識調査を九月十一月に実施し、十二月三月にかけて集計、考察し、四月にパンフレットを作成しました。アンケートに関して御協力をいただきました。

九年度は、このアンケート調査の結果をもとに、各学校の先生方との意見交換の場を設け、今後学生が地元就職、定着するにはどのような環境づくりをしていけばよいか、又、学校においては、どのように進路指導をしてもらうかを検討していきたいと思えます。



▲アンケート作成

いと思えます。

新規事業として、新卒採用者を対象に、実際就職してみでの感想や悩みなど、意見交換の場をもち、将来の人材育成に役立てたいと思えます。

委員長 本田 和幸

### 平成9年度事業計画

- 雇用関係懇親会
- 本会事業の窓口
- 新規事業

### 青年部会会員募集

詳細については、建築協会事務局までお問い合わせ下さい。

TEL(099)224-5220

会報誌の  
ネーミング

募集

今回青年部会会報を初めて発行致しましたが、会報のネーミングを会員の皆様にご募集致します。ユリクで青年部会らしいものをお願いします。尚、募集期間は、九月三十日までです。

応募方法はFAXにて建築協会事務局まで  
FAX

22715479

(会員の皆様は最低一点  
ご応募ください)

# 総務第二委員会

## 平成8年度 事業報告

平成八年四月十二日に設立総会を行い、五十名名の出席者で無事終了しました。

後日、第一回の役員会を開き、委員会のメンバーの編成を行いました。

最初の委員会を五月十六日に行い、青年部の活動が始まりました。五、六月に



▲設立総会



▲ボウリング大会



▲懇親会

かけ組織・名簿作成及び、二回の「協会だより」の一面を使わせてもらい青年部の活動を建築協会会員に紹介しました。また、八月のレクリエーション「ボーリング大会及び懇親会」の準備を委員会全員で行いました。

これは、青年部の最初の行事となることで、各委員が戸惑ったこともたしかですが、八月二十三日にはボウリング大会(三十九名・懇親会(四十三名)の参加を得ることができました。写真でもわかるように和気あいあいとした楽しい時を過ごせたと思います。

次の事業は、今年度最後のレクリエーションで「ゴルフ大会及び新年会」を一月二十五日に行うことに決まりました。前回のレクリエーションでの反省を委員会にて協議し、より一層楽しいレクリエー



▲ゴルフ大会

ションにしたいと委員会を重ね、平成九年一月二十五日にはゴルフに三十名、新年会に四十四名の参加を得ることができました。

総務第二委員会の委員長を一年努めてまいりましたが、設立初年度ということ

で各委員も私も手探り状態の活動で会員に満足いくような事はできなかったかもしれませんが、この一年を反省し、来年は少しでも会員の皆様に応えられるよう

な、総務第二委員会の活動になるよう委員会、月一回の協議を重ねていきたいと思っております。

委員長 嘉川 隆晴



▲新年会

### 平成9年度事業計画

- 年二回の青年部会報の作成
- 協会だよりの一面作成
- 年二回のレクリエーションの計画
- 会員名簿に新会員のみ追加

# 活動委員会

## 平成8年度 事業報告

平成八年五月二十八日に第一回の活動委員会を行い、私達の活動課題が「環境問題の取り組み」という事で決まりました。環境問題といわれても幅が広いので、まずは私達建設業に一番身近な産業廃棄物について取り組む事に決めました。

七月には建築協会の各業者より産業廃棄物の処理についての認識、現状処理方法等に関するアンケートを取りました。アンケート内容を把握、また、問題点をピックアップし、年度末までに産業廃棄物協会に問題点を含んだ講習を予定していましたが、年末になるにしたがつて委員の集まりが悪く、活動が一時中断してしまいました。

一月より各委員とも反省をふまえないが、年度末までに講習を実現しようという活動しましたが、年度末という事で講師側、又は受講者側が忙しいという事で、講習会が延々になってしまいました。六月十三日に七十三名の参加者を経て講習会を行いました。昨年の活動内容を肝に銘



▲独居老人宅奉仕作業



▲独居老人宅奉仕作業

じながら、今年の課題を早急に決め、活動に取り組んでいきたいと思っています。

副委員長 夏山 淳一

## 平成9年度事業計画

- 住まいのお手入れ
- 読本
- 高齢者独居宅奉仕作業
- 環境問題への取り組み

# 震災復旧ボランティア活動報告



五月十八日、青年部会の呼びかけによる震災復旧ボランティアを宮の陣町で実施しました。

当日は日曜日の早朝にもかかわらず、六十八名、ダンプ十八台、ユンボ一台の参加を頂きました。参加者は青年部会の会員だけでなく、本会の会員の方、新聞での告知を見た専門業の方々もいらつしました。作業は倒壊したブロック塀、破損した瓦等の除去等を中心に、町民の方々と共に行いました。

指定場所へ運搬した量は、延べ百四十二石にも及び、町民からも役場の方々からも大変感謝されました。参加頂きました方々には心より感謝申し上げます。 深野 慎



# 会員研修委員会

## 平成8年度 事業報告

会員研修委員会では、会員の皆様及び会社の方々のための各種研修を目的に計



▲パソコン、CAD講習

画し、徐々にではありますが、実行に移しております。

手始めに始めましたパソコン研修は、公共の施設で低料金であるということから雇用促進事業団のポリテクセンターにお願いしましたところ、大変協力的に建築協会独自の講座を作ってもらいました。

平成8年度はパソコン講座を十一月中に平日コースと土曜日コースの二コースで、JWCAD講座を二月中に同じく二

コースに分けて行いました。

パソコン講座では、簡単な表、グラフの作成、また、JWCAD講座では、木造間取、マンション平面図の人力方法を教わりました。

少人数ですので、もちろん機械は一人一台ずつありますし、解らないところは先生に聞きながらできますので、まったく初心者私も含めの人達も結構操作できる様になり、使

こなせばかなり便利な事が解りました。平成九年度に入りまして、四月にパソコンの基礎コースを十七名の参加者で終了し、五月現在、関数の利用法というところで見積書の作成方法等、十名の参加者で講習中であります。JWCADは七月、八月に基礎編と応用編で講座が組んであります。

パソコン研修の方は、会社の方々でまだ受けないという希望もある様ですので、これからも続けて参りたいと思います。

施工管理講習と致しまして、去る三月二十八日、鴨池の建設センターの大会議室にて竹中工務店の山本光男所長に講師をお願いしまして、「スーパーゼネコンに学ぶ施工管理」と銘打って七十名弱と予想していたより若干少なかつたのですが、山本所長には竹中工務店社員用の資料を頂き、現場の経験を生かした実話もたくさん交えて話してもらったので非常に興味深く、意義ある講習会になったのではないかと思います。所長の御都合がければ、二度目の講習もと考えております。

以上これまでの実績をもとに述べましたが、会員の皆様方からこういう講習をして欲しいという要望がありましたら、どしどし申し出て頂き、委員会の方で検討して、積極的に取り入れていきたいと思っておりますので宜しくお願い致します。

委員長 川井田 哲



▲スーパーゼネコンに学ぶ

## 平成9年度事業計画

- 経営者講習会
- パソコン研修
- 先進地視察